

東日本大震災の発生からまもなく5年を迎えようとしています。地震等の災害が起こったときに、被災者は「こころにケガを負う」ことがあります。身体のケガと同じように、こころのケガにも手当てが必要であり、早期の適切な手当てがその後の回復を左右すると言われています。

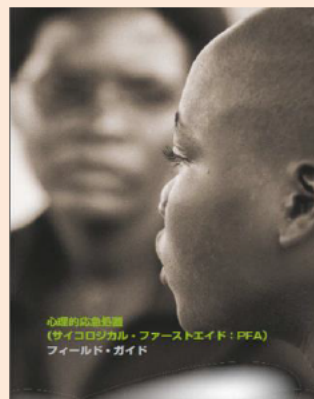
「災害時のこころのケア」の大切さについて

災害等の発生により、こころに傷を負った方に対する「こころのケア」の必要性が広く認識されるようになってきています。災害時の「こころのケア」活動は特別なことではなく、被災者に対して行う対話や関係づくり、環境を整える等の働きかけの中に存在します。支援者が被災された方に関わる時、どのように声をかけたり、何に気をつけて接したらよいのでしょうか。具体的な心構えと対応についてまとめられたものの一つに WHO 版 PFA ガイド があります。

WHO版 PFA (サイコソジカル・ファーストエイド) とは・・・

「心理的応急処置」と訳します

支援者が共通して身につけておくべき心構えと対応をまとめたものです。被災者が二次被害を受けないようにするための関わり方や、尊厳を守り文化に配慮しながら支援するための枠組みが示されています。また、支援を行うために支援者自身のケアも重要視されています。WHO(世界保健機関)版は、幅広い職種の支援者や一般の方に普及しやすく作られているという特徴があります。



- * 国が事業を委託している専門機関である 災害時こころの情報支援センター のホームページから **WHO 版 PFA(サイコソジカル・ファーストエイド)ガイド** をダウンロードしていただけます。

<http://saigai-kokoro.ncnp.go.jp/index.html>

研修会のお知らせ

こころの健康センターでは、「災害時のこころのケア」に関する研修会を開催予定です。災害時のこころのケアに対する理解を深めたり、各支援機関で取り組めることを考えていただく機会としていただければ幸いです。皆さん、是非ご参加ください。

精神保健福祉専門研修会

* 三重県精神保健福祉士協会と共催

今回の研修会では、「WHO 版 サイコロジカル・ファーストエイド(PFA)」を取り上げます。こころのケガを負った方が現状以上のダメージを受けることのないように配慮しながら、回復を手助けする方法を学んでいただけます。

WHO 版 心理的応急処置 **「サイコロジカル・ファーストエイド (PFA) を知る」**

講 師 国立精神・神経医療研究センター

災害時こころの情報支援センター 研究員 大沼 麻実 氏

日 時 平成 28 年 1 月 15 日(金) 13:30~16:00 (受付 13:00~)

場 所 三重県津庁舎 6階 大会議室(津市桜橋 3 丁目 446-34)

* 詳細は <http://ss100051/KOKOROC/HP/kenshu/24kenshu.htm> をご参照ください。

災害時こころのケア研修会

今回の研修会は、①三重県の被害想定状況を知る、②DPAT(災害派遣精神医療チーム)の体制整備をはじめとした三重県のこころのケア体制について知る、③支援者が活動を行う際に必要な「こころのケアの視点や活動」について、改めて理解を深めることを目的として開催します。

講 師 兵庫県こころのケアセンター長(精神科医師) 加藤 寛 先生

*トラウマ・PTSD等「こころのケア」に関する調査研究、人材育成の第1人者です。

日 時 平成 28 年 2 月 10 日(水) 13:30~16:00 (受付 13:00~)

場 所 三重県人権センター 大セミナー室(津市一身田大古曾 693 番地 1)

- こころの健康センターのホームページでは、災害時のこころのケアに関する情報が掲載されていますので、是非ご活用ください。

発行: 三重県こころの健康センター

〒514-8567 津市桜橋 3-446-34 三重県津庁舎保健所棟 2 階

TEL: 059-223-5241(代) FAX: 059-223-5242

URL: <http://www.pref.mie.lg.jp/KOKOROC/HP/>



サポートします!
こころの健康